

第12回 みくにひじり幼稚園・保育園 学校評価委員会 議事録

令和5年6月23日(金) 午後6時～

みくにひじり幼稚園 2Fホール

出席者

記録者 みくにひじり幼稚園主事 安達

堀 いつみ	三国地区社会福祉協議会	狭川 一三	三国八町会
山本 芳弘	三国小学校 ・教頭	峯松 好	三国八町会
福井 直也	三国小学校 ・PTA副会長	安達 巡	聖晋学園 理事長
新木 克昌	西三国小学校・校長		みくにひじり保育園・施設長
福元 康仁	西三国小学校・PTA会長	安達 祐一	みくにひじり幼稚園・園長
秋山 加奈恵	母の会 ・会長	奥村 綾	みくにひじり幼稚園・副園長
尾杉 祐樹	おやじの会 ・会長	今井 明美	みくにひじり幼稚園・主任
三枝 はな子	母の会 ・前会長	安達 香代	みくにひじり幼稚園・主事
富田 奈央	保育園卒 現幼稚園 保護者	前田 純子	みくにひじり保育園・主任
山根 亜好	保育園卒 現幼稚園 保護者	丸山 朋大	みくにひじり保育園・主事

1、 園長挨拶

①学校評価委員会についての考え方②評価委員メンバー構成について③情報公開了承のお願い

2、 自己紹介

3、 評価内容項目

①令和4年度 自己評価結果公表シートについて(幼稚園・保育園)

②令和4年度 保護者アンケート(幼稚園・保育園))

4、 保育の取り組みについて(幼稚園・保育園)

○幼稚園

令和4年度、評価項目『子どもの主体的な遊びを育むための環境作り』の

年齢別の取り組み状況を、「子どもの遊びが学びへつながる姿」を元に報告。

○保育園

「5領域から見る子どもの育ち・保育の中で大切にしていること」への保護者の

保育理解について報告。

5、 意見交換(主なご意見)

○どのように子どもが中心にいかに関与者に理解してもらえるように伝えていくかというところに気を使っていることがわかった。

みくにひじり幼稚園からたくさん来られている。

コロナで大変だった時かわりが持てなかったが、昨年度2月に年長児が幼稚園から小学校に来てもらい授業の様子・設備を見てもらった。その時にすごく楽しみにしてくれているお子さんたちと出会えた。いい感じに小学校で受け入れていきたい。

コロナもあつたり、環境も変わって慣れていない部分もあつたりするが、のびのびと過ごしてくれていると感じている。職員にも広めていきたい。

○無知でしたが、こんなにいろんなことを考えて保育されているのがわかった。

来させていただいたのが初めてだったが、保護者の方にこんにちとは挨拶していただいたり、先生に挨拶していただいた笑顔がすごくあった。園児もすごく笑顔でそこがいい保育園・幼稚園だなと感じた。

笑っている子どもたちがいる園というのは、いい環境なんだなというのが一番の印象でした。

教育に関してはわからないですが、先生がこんなに考えているのはいいことだと思う。

○この場ではじめて説明してもらって非常に理解できました。

目標・どうやって評価されているか全然僕らにはわからないところでしたが、理解できたのが良かった。定期的に開催してこの場だけではなく、他の保護者の方にも伝わればいいと思います。

○保育園卒園して、今幼稚園に通っている。年少になって、環境が変わり保育園に通う様子と幼稚園に通う様子が違う。

保育園で5領域の話を聞いていた。

目標を持って子どもと接していることに感謝している。

幼稚園は説明会の時のみこういう説明があった。

先生が一生懸命、クラスだより配信や YouTube で配信してくれているが、目標をもとにしてますというのが全員に伝わっていないのかなというところがあるので、もっと皆さんが集まった機会や行事ごとの前に説明したら、もっと目標を持って子ども達と接しているんだなというのが伝わるので、幼稚園でもその機会を増やす機会を作ったらいいのかなと思いました。

○アンケート結果についてと被るが、保育園も幼稚園も子ども主体に考えてくれていると感じているありがたいと思うことばかり。

遠足どこに行くとか運動会なにするとかを子どもたちで決めていることが衝撃的だった。

今後もどんどんしてほしい。

改善してほしいところを考えてみたけど満足しているし、ありがたいしかない思いつかなかった。

○小学生4年生と1年生

こども主体で保育をしますとなったのは上の子年中の時からで、下の子は3年間最初から新しい方針でお世話になった。2人ともおびおび過ごさせてもらった。

遠足の行先を自分で決めたりとか、運動会をわくわくデーという呼び方にしようとか

子ども達が自分たちで考えてというのを大事にしてくださっている。

最初正直上の子の時に本当にそれでいいのかと考えたこともあった。

去年とか幼稚園の主体的に大人になったときに役に立つということを教えてもらったので、安心しているのですが、お友達の話で絵を描きたい子は絵を描くとか自分達で考えてやりたいことをやっていたのに、小学校に入り1年生の図工でみんなで絵を描きましょうとなった時に、頭を抱えた子がいる。立ってなさいと言われた。親としては衝撃。

幼稚園では自分で考えて作ったり、絵を描きたい子は描くし、という所が、急に学校ではやっぱり同じことをしないといけない絵を描くことをあんまりやっていなかった子が、立ってなさいと4月5月に言われて、どうなんだろうという話をしていた。

学年ごとに接し方とかマニュアルがあるのか。

出身や保育園など環境の違う子が集まる。

幼稚園から1年生に上がって、担任される先生がうまくつながるようにしてくれるようなマニュアルがあるのかと思った。幼稚園の自分たちで考えるのはありがたいと思っていたので、そこが最近切ないと感じる。

<小学校の先生の回答>

学習指導要領に則って行っている。

先ほどの立たせるどころというのには僕もびっくりしている。

そういう指導はあり得ない。

どういう経緯でそうなったのかこちらも考えないといけない。

基本的には集団生活に慣れていくように進めていきながら、個に応じた指導を取り入れつつ、子ども達が成長していくようにやっている。

学年でその都度話をしていきながら、指導をそれぞれの先生のオリジナルではなく一緒に話を進めていく。

1年生だからこうしていくものだからではなく、これまでやってきた相談していったファイルを元に先生達で考えて行っている。

○入園説明会に来た時に園長先生が話している姿を、後ろで幼稚園の先生が楽しそうに園長先生の話の聞いているのを見て仲がいいんだな、この幼稚園に上の子を入れたいなと思った。

5年生だけど幼稚園の先生が大好き、感謝している。

保育の内容は上の子の時は、運動会ではちゃんと並んで、劇はセリフをここで言ってという保育だったが、今の方針もすごい好きで子どもがのびのびしていて、顔も泥まみれで帰ってきたりして、上の子の時より、写真展示、YouTube 配信、ネットの配信が増え家に帰ってから話を聞いてあとで YouTube を見てこうゆうことを言っていたんだなと話が合致して、そういうことがあったんだと理解できたり保護者としてはいろいろ考えてくださって、先生がたくさん考えてくださっていることを広めていきたい。

○細かいところまでやってくれているのだなと。

年代が上だから子どもたちが登園するときには元気な姿で挨拶してくれている。

帰るときも元気でいきいきとしていると日々感じている。

○通っていた子どもが25歳になった。どれだけ楽しいのか。

水かけてもらってキャツキャゆうて先生に何々してーと、園庭では、

泣き声が聞こえない笑い声だけ、園庭で遊んでいる姿を見せてもらっている。

○卒園して下の子35歳。

今と全然ちがう。今の保護者の方は写真でしかなかったものが動いているものを見れる、園での生活を動画で見れるのはすごくいい。

学校に行くと決まったものがあるというのは、そこでの決まりがあると思うので、順応が大変だと思うのですが、少しは園も教えてあげる。

こういうことがあるよと幼稚園のうちに少しは伝えていってあげたら準備ができていいけるのではないかと感じています。

○子ども中心というので写真から波動みたいなものが伝わってくる。

今年から小学校とかでもコロナの制約が明けてくると思うので、幼稚園の取り組みが増えてくると思うのですが、子どもたち主体の出し物を自分らで考えてやる。以前から変わっていないのかなと安心している。

初めて入園したときに舞台上勝手に上がったときに怒らずに見てくれた子が高校生保護者を巻き込んでの保育の可視化がいい。

○分かりやすい説明をありがとうございます。

子どもの表情がいきいきしていて、こども主体に教え込むではなくて

子どもたちの興味を引き出す保育をされているのだなと、

遊び・学びの環境の中で子ども達が学んでいっている成長していっていると感じた。

○学校との違いという部分では、

学校というのは教え込もうとしてしまう所があって、いろいろなところで言われているのは、子に合った教育をしていかなければならないと言われていまして、一斉にするのではなくて、そういったスキルを先生も学んでいかないといけない。

小学校も中学校もそうだと思うのですが、一斉にするのは得意なのですが、個に応じてやっていくスキルがこれから必要なのかなというところで、小学校の先生にも保育を見てほしい。

見て学ぶものがあるのではないかな。幼稚園の先生も小学校を見ていただいて、学び合いができるのではないかな。

マニュアルで共通実践されている。

様々な情報発信されているのはすごいと思う。

いろいろとまとめられたり振り返ったりする中で先生たちの学びになっている。

大変なお仕事で忙しくされているのではないかなとも思う。

【アンケート結果(通回収)】

① 自己評価結果公表シート評価結果について(幼稚園)

・適正である・・・9 ・適正でない・・・0

自己評価結果公表シート評価結果について(保育園)

・適正である・・・9 ・適正でない・・・0

〈ご意見〉

- ・設定された目標は子どもの成長にすべて大事なもののばかりで、取り組みの状況の詳細から先生方が日々子ども達に目を配ってくださっているのがよくわかりました。
- ・しっかりとした教育目標・評価項目・取り組み状況も記しており、より一層安心して子どもを預けられる環境だとわかりました。
- ・素晴らしいと思いました。
- ・幼稚園も保育園も先生方が子どもの年齢に応じて考えて保育をしてくださっていることが良くわかりました。

② 保護者アンケート集計結果について(幼稚園)

・適正である・・・9 ・適正でない・・・0

保護者アンケート集計結果について(保育園)

・適正である・・・9 ・適正でない・・・0

- ・フィードバックを園内だけではなく、今回のような委員会でも発表していることを知りアンケートの重要性やデータを元に改善する姿勢がある事を知り、とても好感が持て真剣に取り組む姿勢に感心しました。
- ・5領域を育むために先生方が子ども達にヒントを与え気づくために誘導してくださっていることに感謝です。
- ・ネガティブな感想を述べている方は、表面でしか判断していないので、園の取り組みをぜひ発表し続けてください。
- ・保育の可視化ぜひ続けてください。
- ・概ね高評価で良かったです。保護者の理解を得られていると思います。
- ・保護者へ園での様子をいろいろな方法で教えてくださっているのが皆さん安心していただけることができていると思います。
- ・全て読ませていただきました。色々な方がいらっしゃるの、考え方や求めるものが違うのだと思いますが、今まで通り「保護者のため」ではなく「子どものため」の保育であってほしいと思います。

③ 保育の取り組みについて(幼稚園)

〈ご意見〉

- ・マニュアルを作成し、共通理解をしながら実践されているのが良くわかりました。
- ・個々を尊重し、それぞれのペースで保育を行う大変さがある中それでも自分で考える力を育むことを優先してくれる環境がある事をすごく有難く思いました。
- ・子ども中心である事で写真からものびのびした姿やいきいきした様子が伝わってきました。良かったです。
- ・子ども主体の方針がすごく楽しそうでした。
- ・子ども達で話し合っ決めていくのは大人では思いつかないアイデアが出たり、何より自己肯定感が上がると思います。これから大人になって幼稚園で経験させていただいたことが、生かせるらしいなと思います。
- ・子ども中心の保育をしていることがよくわかった。
- ・いちにち先生ですみれ組に入らせていただいた日に“しゃぼんだま”についてクラスで子ども達と話していました。子ども達が自分達で作りたい、大きいのを作りたい、割れないのを作りたい、しゃぼん玉の中に入りたい・・・等、いろいろな意見が飛び交う様子を見ました。次の日からは息子が取り組みについて話してくれました。普段はあまり話さないのに自分から液の作り方やしゃぼんだまに入ったことを嬉しそうに伝えてくれました。

保育の取り組みについて(保育園)

〈ご意見〉

- ・遊びの環境を整え子どもを主体にして子どもが工夫して学び成長しているのか良くわかりました。
- ・5領域を保護者に理解していただく取り組みは素晴らしいと思います。

- ・5領域を元に取り入れ、何もわからないであろう子どもに対し、少し変化でも気づこうとしてくれる保育に接し保育に接しとても勉強になりました。どの先生もわが子の特性を知っていて親でも見過ごし様子を伝えてもらい良い面を見るためのアドバイスをもらいとても助かりました。
(5 領域と言われると堅苦しいので「成長する為の5つのワード」みたいに言ってもらえるとスーッと受け入れやすいです…。)
- ・5項目の指導がよくわかった。
- ・5領域についての話がすごくわかりやすかったです。また、写真で子ども達の様子を見ながら保護者の方と5領域の内容について考えたり、話したりする機会があるのもすごく良いなと思いました。
- ・保護者を巻き込んだ5領域の理解や保育の可視化は良い取り組みだと思いました。
- ・子ども達の為に考えられているのがすごく伝わりました。
- ・0歳児の子にもいろいろ考えられていておむつ替えの後、腹筋がつくように起こしたり、ズボンに左足からなど細かく考えられていることを知りました。うちは保育園は行かせていませんでしたが、赤ちゃんの頃からお友達とのかかわりなどいろいろ経験でき、保護者の方へも写真や懇談会で伝えてくださり皆さん安心して預けられると思います。

◎本日の評価委員会の内容について

- ・おやじの会の会長という立場で園の良い所を発表すべきだったと後悔しています。当会の主旨を理解できていなかったのがそもそもの失敗でした。すみません。おやじと子が触れ合うイベント(カーニバル・もちつき・節分など)がたくさんあるのは素敵なところですね。
- ・就学前教育と小学校教育のギャップ等、今後取り組むべき課題としてとらえることができました。
- ・保育園・幼稚園生活を経て、また今回の委員会に参加して上で、保育園・幼稚園の園長や先生方が子ども達の成長や感性に基づき、子ども達の考えを重要視して接してくれていることにとても感謝する反面、自分の子どもにしか焦点を合さず先生達の日々の努力を当たり前や慣れとして受け取る方も多くいるような気がします。
みくにひじり幼稚園の方針・理念を基に「個々の考えを育てる」ことを応援している私としては、日々努力している先生達の想いが保護者に伝わるよう、動画やチラシだけではなく、懇談会や行事ごと等に、声での発信もしていただけたら先生達の想いも一人でも多く伝わるのかなと…。先生達が良い先生ばかりなので応援しています。
- ・とても伝わりやすく先生方の意見を聞かせていただいていたお時間でした。
- ・上の子が年長の時、リレーの順番を決めて1等になったことを今でも思い出して話をします。何度も話し合っって勝てたことが自信につながっていると思います。
年中の時、給食のシュウマイをじゃんけんで負けたけど、先生がこっそりくれたこともよく話してきます。楽しい思い出ばかりで、思い返せば幼稚園嫌！といったことがないです。
下の子が年長の時、子ども達が考えた運動会のルールに感動しましたが、お家の人達に楽しんで欲しいという優しい考えにあふれていて感動しました。
子ども達が、のびのびと楽しく過ごせる環境を考えてくださってありがとうございます。これからの100年も、子どもの心に残る園でいてください。
- ・ただただ、活動をするだけではなく、子ども達から出た案を元に活動を進めていくことで、興味や積極性が増していることを身近で見ることができてまた、子どもの楽しそうな姿を見て改めて貴重な経験をさせていただいたんだと感じました。
動画でしゃぼん玉の中に入っているのを見た時は大成功したんだなと嬉しかったです。子ども達の様々な意見を1つずつ汲み取って前に進められるように周りでサポートくださる先生方には感謝の気持ちでいっぱいになりました。幼稚園の雰囲気先生同士や子どもの雰囲気が良いからこそ子ども達が毎日楽しく過ごせるようにしているんだなと思いました。参加させていただいてありがとうございました。
- ・保育園の時も、今も十分な保育環境に大変満足しているのですが、今回評価委員会に参加させていただき今よりもっと良くする為にもいろいろ考えてくださっていることに感謝しかありません。幼稚園や保育園の環境よりも必要以上の事を求める保護者の方が多いことの方が気になります。日々たくさんの事を考えて良くしていこうと先生方がしてくださっているのです。そういう取り組みがたくさんの保護者の方にもっと伝われば・・・！と思いました。毎日本当にご苦労様です。いつもありがとうございます。